

地域意見交換会の主な意見（長久手小校区）

No.	分類	内容	回答
1	ごみ減量について	市民の意識を別の方法で高められないか。方法は増額しかないのか。市民教育をしてから期限を決め、減らなかつたら増額という手順が良いのではないか。	これまで行ってきた啓発活動やごみ減量の施策のほか、近年では各小中学校でごみ減量に関する説明会を実施し、晴丘センター延命化に伴うごみ減量のお願いを記したチラシを全戸配布するなど広報も複数行ってきましたが、ごみが減量しないという状況から環境省からもごみ減量や資源分別の促進に効果があるとされている1つの取り組みとして今回もえるごみ袋の増額を検討し始めました。市としても増額のみでごみ減量を行っていくのではなく、今後も新たな減量施策を実施し併せて取り組んでいきたいと考えています。
2	ごみ減量について	地域によって分別意識に差があると思う。自治会などの地域団体を通して注意してほしい。	ご意見として参考にさせていただきます。
3	ごみ減量について	ペットボトルは潰す道具を使うようになってから、体積が減り保管も運搬も楽になった。ごみ減量アイテムの宣伝もやっていけると良い。	ご意見として参考にさせていただきます。
4	ごみの収集について	夜にごみ回収をしているという自治体もあると聞くが長久手市もできないか。	夜間は人件費が高騰することと、騒音等の問題があることから本市では採用を考えていません。
5	ごみの収集について	回収の遅い地域は午後4時前後の回収とのことだが、本市の人口や世帯増により、収集車の体制はどう変わってきたか。	これまで収集車は人口とともに増台しており、1日のうちに晴丘センターへ搬入できるよう改善してきています。従来は、その日の内に晴丘センターに持ち込むことを目標としていますが、回収を早くしてほしいという要望も多いため、今回の値上げにより得た増収分については一部を収集車両の増台分に充て還元していきたいと考えています。
6	増額の値段設定について	家庭の人数によってごみ袋の使用枚数が違う。ある程度の枚数を無料で配布することはできないか。	県内でも家庭の人数に合わせて1年分配布し、それ以上は1枚120円等といった高い値段で実施している自治体はありますが、減量効果が期待できないことから長久手市では考えていません。
7	新しいごみ袋について	おむつは別の袋があると良い。	ご意見として参考にさせていただきます。
8	ごみ袋の仕様について	剪定くず専用の袋があると良い。	剪定くずに関しては減量の難しいごみと認識しています。ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。
9	資源化について	使用済み紙おむつのリサイクル検討したらどうか。	現在は近隣に紙おむつリサイクルを実施できる施設がなく、持ち込みが困難ですが、実施している市町もあるため受け入れ体制を作っていく必要はあると考えています。

地域意見交換会の主な意見（長久手小校区）

No.	分類	内容	回答
10	ごみの収集について	プラスチック製容器包装は2週間も置いておくと臭いが発生するため、回収頻度を増やしてくれると嬉しい。	市としても資源を出しやすくするための施策として検討していきたいと考えています。
11	ごみの収集について	戸別回収は効率が悪いと思うが、集積所を設け回収する形態を増やすことは考えていないのか。	集積所を設けた方が回収の効率は良いですが、現在の個別回収の利点として、自分のごみに責任を持つことに繋がることや高齢化やごみを持っていくことが難しい方にとっては優れているという点があります。今後、全世帯を集積所まで持って行っていただくよう変更することは困難ですが、協力いただける方にはお願いしたいと考えています。
12	ごみの収集について	ごみの散乱を減らすため、収集時間に合わせてごみを出したいが、収集時間の目安を教えてください。	恐れ入りますが、ごみの量によって、時間やルートが異なってくるため収集時間の目安をお伝えすることはできません。確実に回収できる朝8時30分までに出していただくようお願いしています。
13	ごみの減量が困難なものについて	減量が困難で生活必需品の紙おむつの扱いは、どうなるのか。	ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには、意見交換会を踏まえ、福祉部局と連携しながら、紙おむつの扱いの方向性を決定する予定です。
14	ごみの減量が困難なものについて	減量が難しい刈草・剪定枝の扱いはどうなるのか。	ごみ袋の増額は、令和4年6月議会で条例改正議案を上程する予定です。それまでには意見交換会を踏まえ、剪定枝の扱いの方向性を決定する予定です。
15	ごみの減量が困難なものについて	紙おむつの取り扱いを保留としているが、生理用品は紙おむつに分類されるのか。	紙おむつ取り扱いの方向性を決定する令和4年6月議会の条例改正議案上程までに生理用品についても方向性を決定していきたいと考えています。
16	不法投棄について	増額すると不法投棄が増えるのではないのか。	先行してもえるごみ袋を値上げした知多地域の自治体を訪問し聞き取りをしましたが、値上げが原因で不法投棄は増えていません。本市としては、現在も実施しているごみ集積所のパトロールを引き続き行っていきます。
17	野焼きについて	ごみ袋の値段が上がると、野焼きが増えるのではないのか？	法律で禁止されている野焼きについては、関係機関と協力して、情報の共有と迅速な対応を行っていきます。

地域意見交換会の主な意見（長久手小校区）

No.	分類	内容	回答
18	ごみの増加について	ごみの増加はパック詰や包装が過剰になっている企業に問題があるのではないかと。行政として企業にも働きかけていくべきではないかと。	ご意見として参考にさせていただきます。包装の多くは分別できるもののため、いかに分別していただけるかが重要であると考えています。企業は買う人の趣旨趣向に合わせて売られるように作られているため買う側の意識の変化も必要であると感じています。県内の企業に関しましては、愛知県によってプラスチック削減についてのセミナーを行う等の方法で啓発を実施しております。市としては今年度、事業者に関しては市独自で組成調査を行い実態の把握後、具体的な取り組みを検討していく予定です。
19	ごみの増加について	平成30年から現在にかけてごみが増えている理由は何かと。新型コロナウイルス感染症の影響ではないかと。	1人1日あたりのもえるごみ排出量ですが、令和元年度の前半以前から増えているため新型コロナウイルス感染症だけの影響ではありません。消費税増税に係る買い替え需要等いくつかの理由は考えられますが、はっきりした原因はわかっていません。現在市としては、平成28年以前は減量傾向にあった1人1日あたりのもえるごみ排出量が横ばいになり減らなくなってしまったことが問題であると考えておりごみの減量をお願いしています。
20	増額の実施について	予定時期までに15%減量が達成できれば値上げしないのか。	もえるごみ袋の増額の施策に関しては、今まで行ってきた地域意見交換会をはじめ皆様からいただいた意見を踏まえ議案を提出し、議会の承認を得ることができて初めて決まるものです。値上げの予定時期までに、目標値の達成次第で値上げの有無が変更されるかどうかについては、これまで行ってきた啓発活動やごみ減量の施策のほか、近年では各小校区でごみ減量に関する説明会を実施し、晴丘センター延命化に伴うごみ減量のお願いを記したチラシを全戸配布するなど様々な広報を行ってきましたが、ごみが減量しないという状況からごみ減量や資源分別の促進に効果があるとされている1つの取り組みとして今回もえるごみ袋増額の検討をし始めました。そのため恐れ入りますがこれから期限を設け減量値によって実施の有無を決定することは考えておりません。
21	ごみ処理経費について	ごみ処理経費に対して手数料が15%から32%に上がるとのことだが、それ以外の処理経費はどこからでているのか。	手数料収入以外の処理経費は税金から出ています。